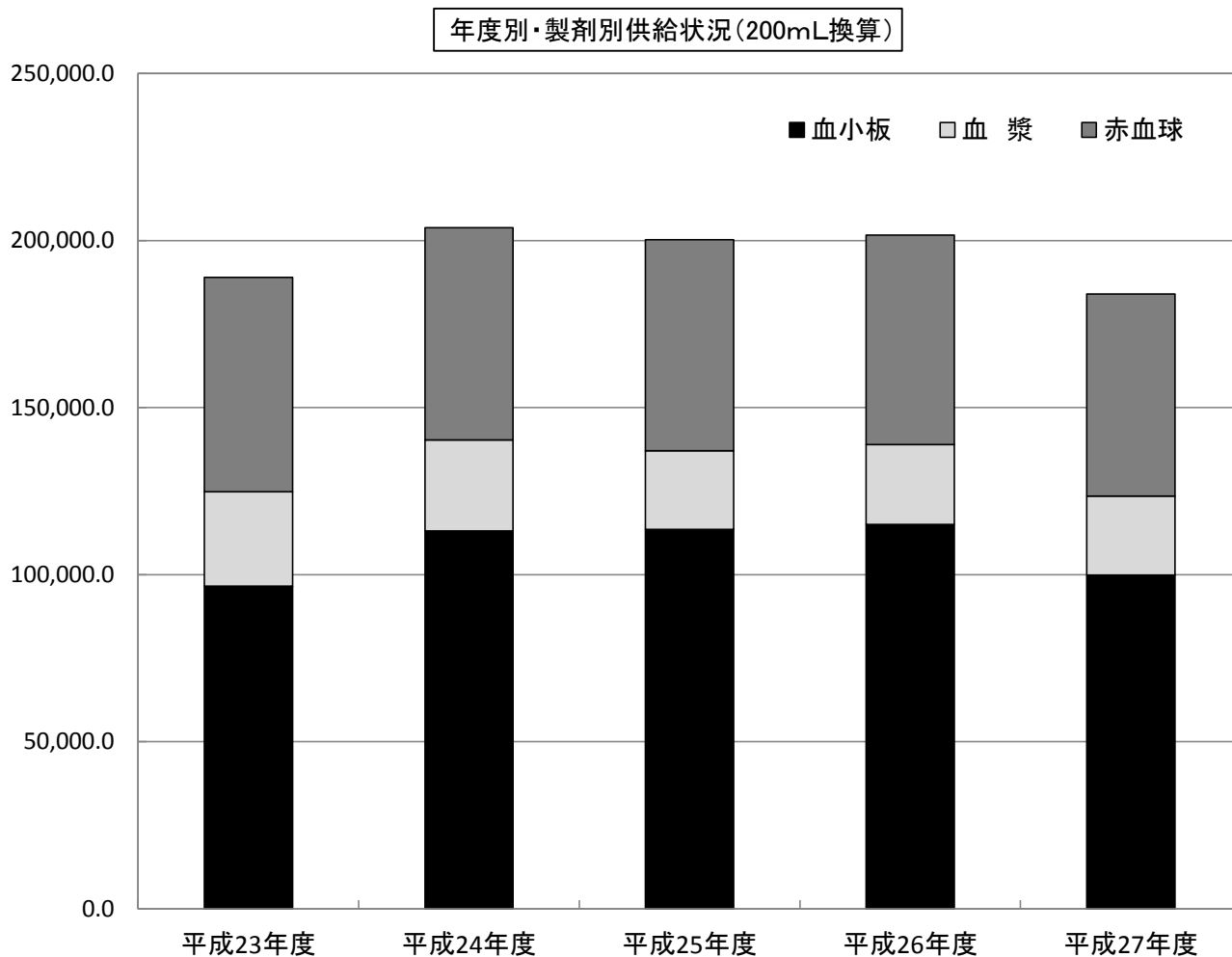


医療機関への供給数の推移



○平成27年度の輸血用血液製剤の供給量は減少している。この理由として、主要医療機関での供給量減、循環器系での使用抑制が見られる。特に血小板需要の減少が顕著である。

(200mL換算)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
血小板	96,583.0	113,080.0	113,507.0	115,005.0	99,860.0
血漿	28,249.0	27,262.5	23,549.5	23,896.5	23,689.0
赤血球	64,173.0	63,496.0	63,239.0	62,771.0	60,430.0
全血	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	189,005.0	203,838.5	200,295.5	201,672.5	183,979.0